

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（国語） 科目：（現代の国語）

単位数：（2）単位

対象：（第1学年 A科～ G科）

教科担当者：

使用教科書：（『新編 現代の国語』大修館書店）

使用教材：（『級別漢字学習 7 級～2 級』とうほう）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション	・評価の基準や年間授業計画を確認し、単元や学期ごとの目標を立て、計画的に学習に臨む姿勢づくりをする。	〈評価方法〉 定期考査 提出物 自己評価表 授業態度 〈評価の観点〉 【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	2
5 月	ナンバーワンか、オンリーワンか（稲垣栄洋）	・説明の仕方に注意して読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。	【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	4
6 月	伝わるように話そう	・相手に伝えたいことを、分かりやすく整理して話す。	【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	4
7 月	漢字	・常用漢字の読みに慣れるとともに、主な常用漢字が書けるようにする。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	3
8 月				
9 月	意見文の基礎を学ぼう	・意見文の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。		4
1 0 月	水の東西（山崎正和）	・主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。 ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る。		4
1 1 月	絵や写真を説明しよう	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・わかりやすい説明のしかたを身に付ける。		4
1 2 月	漢字	常用漢字の読みに慣れるとともに、主な常用漢字が書けるようにする。		2
1 月	ミニインタビューをしよう	・必要な情報を相手から聞き出せるよう、質問しながら聞く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。 ・聞き取った情報を活用するためのメモをとる。		3
2 月	聞き取ったことをまとめよう	・聞き取った情報を整理したり編集したりして、わかりやすく効果的な文章を書く。 ・読み手からの助言などをふまえ、文章を整えたり、改善したりする。		3
3 月	漢字実力試験	・年度内に取り組んだ漢字の読み書きの習熟度を確認し、次年度の学習計画を立てる。		2

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（国語） 科目：（言語文化）

単位数：（2）単位

対象：（第2学年 A科～ G科）

教科担当者：

使用教科書：（『新編 言語文化』大修館書店）

使用教材：（『級別漢字学習 7 級～2 級』とうほう）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション 級別学習漢字	・評価の基準や年間授業計画を確認し、単元や学期ごとの目標を立て、計画的に学習に臨む姿勢づくりをする。 ・4 級の漢検の問題を解き、答え合わせをし、漢字の読み書きをマスターする。	〈評価方法〉 定期考査 提出物 自己評価表 授業態度 〈評価の観点〉 【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 各言語活動を通して論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとしている。 また他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	2
5 月	コルベ神父（遠藤周作）	・語句の意味を理解し、漢字の読み書きをマスターする。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	4
6 月	夢十夜（夏目漱石）	・語句の意味を理解し、漢字の読み書きをマスターする。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。		4
7 月	漢字	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書き、文や文章の中で使えるようにする。		3
8 月				
9 月	いろはうた 仮名遣い・五十音図	・古典を読むための基礎的な知識を学ぶ。		4
1 0 月	枕草子（清少納言） 「うつくしきもの」 「にくきもの」	・平安時代の女流文学の感性を学び、自身の感性を磨く。 ・古語の意味を学び、言語感覚を学ぶ。 ・品詞分解を理解し、古文読解能力を高める。		4
1 1 月	竹取物語、徒然草、奥の細道など	・『竹取物語』『徒然草』『奥の細道』などの概略の内容を理解し、全体像を学び、日本の文化を知る。有名な作品を暗唱する。 ・品詞分解を理解し、古文読解能力を高める。		4
1 2 月	漢字	常用漢字の読みに慣れるとともに、主な常用漢字が書けるようにする。		2
1 月	訓読の決まり 格言	・漢文を訓読するための規則を学ぶ。 ・身近な格言の由来を知り、語彙を知り、使いこなせるようにする。		3
2 月	論語、他、漢詩など	・『論語』の有名な一節を読み、自身の思想を高める。漢詩を味わい、楽しむ。 ・漢文をきちんと訓読できる能力を身に着ける。		3
3 月	漢字実力試験	・年度内に取り組んだ漢字の読み書きの習熟度を確認し、次年度の学習計画を立てる。		2

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（国語） 科目：（選択現代文）

単位数：（2）単位

対象：（第3学年 1科）

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店 新編 現代の国語）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	説明文 「ナンバーワンか、オンリーワンか」	接続表現に気を付けて読み、説明のしかたをとらえる。	〈評価方法〉 提出物 授業態度 〈評価の観点〉 【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通じて、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	4
5月	説明文 「ナンバーワンか、オンリーワンか」	問題提起とその答えを意識し、文章全体の構成をつかむ。		6
6月	意見文 「商品と贈り物の違い」	対比の関係を意識しながら読む。		6
7月	意見文 「商品と贈り物の違い」	具体例の働き方をとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。		2
8月				
9月	情報の読取 「情報の力関係」	図との関係に注意しながら、文章を読み取る。		6
月	情報の読取 「情報の力関係」	文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考える。		4
月	情報の読取 「世界は私にほえんでいる」	図との関係に注意しながら、文章を読み取ろう。		6
月	情報の読取 「世界は私にほえんでいる」	筆者の主張とその根拠の関係を吟味しながら読む。		2
1月	評論文 「何のために『働く』のか」	筆者の問題意識と主張を、具体例に気を付けながら読み取る。		4
2月	評論文 「何のために『働く』のか」	文章の構成の仕方や具体例の役割に注意しながら、筆者の主張を読み取る。		4
3月	評論文 「何のために『働く』のか」	読み取ったことをふまえて、自分の考えを広げる。		2

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（国語） 科目：（現代文A）

単位数：（2）単位

対象：（第4学年 A・M・I・G科）

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店 新編 現代の国語）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	・評価の基準や年間授業計画を確認し、単元や学期ごとの目標を立て、計画的に学習に臨む姿勢づくりをする。	〈評価方法〉 提出物 授業態度 〈評価の観点〉 【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通じて、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	4
5月	評論文 ミロのヴィーナス	・表現の仕方に注意して読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。		6
6月	評論文 ミロのヴィーナス	・相手に伝えたいことを、分かりやすく整理して書く。		6
7月	朗読して味わう	・朗読の基本的な注意点を確認し、理解したことが表れるように工夫して朗読する。 ・詩を朗読し、特有の表現を味わい、読みを深める。		2
8月				
9月	小説 山椒魚	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		6
月	小説 山椒魚	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・深く共感したり、話を広げたり、深めたりしながら書く。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		4
月	素論文 分からないからおもしろい	・必要な情報を文章から読み取り、書き出す。 ・読み取った情報を活用するためのメモをとる。 ・文章の展開に注意し、文章を深く読み解き、自分の意見を書く。		6
月	複数の観点を生かして理解を深める。	・題材の資料について、理解したことを説明する。 ・自分と異なる資料を読んだ他者と考えを比較して、自分の考えを深める。 ・最初の自分の考えがどのように深まったかについて確認する。		2
1月	小説 こころ	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めたり、自分の思いや考えを深めたりする。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		4
2月	小説 こころ	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めたり、自分の思いや考えを深めたりする。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		4
3月				